

小委員会の調査報告書

教科名	社会科	委員長名 <u>本 間 到</u>
調査研究の経過	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を7月1日(水)に、稚内総合文化センターで開催し、社会科小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 7月2日(木)から7月20日(月)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月21日(火)に、稚内市役所〈正庁の間〉で開催し、報告書の作成を行った。</p> <p>なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、 〈地理〉東書、教出、帝国、日文の4者である。 〈歴史〉東書、教出、帝国、山川、日文の5者である。 〈公民〉東書、教出、帝国、日文、自由の5者である。 〈地図〉東書、帝国の2者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(2) 「使用上の配慮等」について</p> <p>(3) 「その他」について</p>	
調査研究に当たった際の配慮事項	<p>次の点に配慮して調査研究を進めた。</p> <p>1 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各学科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>(3) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか。</p> <p>2 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 生徒の学習意欲を高めるよう工夫されているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>3 「その他」について</p> <p>上記1～2に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p>	
少数意見その他	<p>特記事項なし</p>	

様式2

教科名		社会科（地理的分野）				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		東京書籍	新しい社会 地理	701	教育出版	中学校 地理 地域にまなぶ
取 扱 内 容 の 構 成 排 列	<p>○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域構成」において、各国の人口、面積などから大観したり、国旗の由来から国や地域について関心を高めたりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、6つの事例地域と東京の雨温図を参考に生活の様子を考察したり、異なる自然環境や宗教とのかかわりから、多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、各州における生活・文化や環境問題などから地域的特色を大まかにとらえたり、主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、自然、防災、産業などから、主題を設けて追究したり、調査の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、地震や火山、気候の分布などをとらえたり、自然災害と防災・減災への取組について、日本の自然環境に関する特色等を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分して、自然、産業、生活・文化等から地域的特色をとらえたり、主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、宮崎市を例に、身近な地域の将来像を話し合ったり、他者を尊重する態度や地域社会の形成に参画する態度を身に付けたりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、学習課題を設定し、見通しをもたせ、参加型学習である「みんなでチャレンジ」を設けたり、多様な意見に触れたりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、「世界各地の人々の生活と環境」において、写真や雨温図などの資料を読み取る学習の後に、「世界の諸地域」において、複数の資料の比較や関連付けを通じて、特色を捉える学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「アイヌの人たちの歴史・文化等」は3ページ、「北方領土に関する内容」は10ページ取り上げており、総ページ数は295ページで前回と同じである。</p>			<p>○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域構成」において、身近な物から地域構成を大観したり、伝統・文化などから国や地域について関心を高めたりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、6つの事例地域の自然と暮らしとのかかわりに着目して生活の様子を考察したり、言語・民族・宗教とのかかわりから多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、各州における経済やその課題などから地域的特色を大まかにとらえたり、主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、自然、開発、産業などから、主題を設けて追究したり、調査の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、地形や気候の分布などをとらえたり、自然災害と防災、開発や環境保全について、日本の自然環境に関する特色等を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分して、自然、人口、歴史、産業、交通、伝統等からそれぞれの地域的特色をとらえたり、主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、多摩ニュータウンにおける高齢化問題について、話し合ったり、地域に見られる課題を解決していくとする態度を身に付けたりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、学習課題を設定し、見通しをもたせ、興味や関心を広げるコラム「地理の窓」を設けたり、個人やグループで学びを深めたりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、「世界のさまざまな地域」において、世界各地の生活から興味・関心を高める学習の後に、「日本のさまざまな地域」において、自分でテーマを設定し、仮説を立て、意見を交換する学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「アイヌの人たちの歴史・文化等」は9ページ、「北方領土に関する内容」は9ページ取り上げており、総ページ数は295ページで前回よりも6%増となっている。</p>		
	使 上 の 配 慮 等	<p>○ 「日本の諸地域」において、北海道の自然の特色を生かした産業を取り上げたり、アイヌ民族の文化を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 単元全体を貫く「探究課題」を設定する活動や課題解決を補助する問いを軸に構造化された学習活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 見開きで1単位時間の構成を示したり、学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、端末を活用した学習として、「Dマーク」（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			<p>○ 「日本の諸地域」において、北海道における自然と観光を取り上げたり、持続可能な社会づくりの視点からアイヌ民族の文化を紹介したりするなど、学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 章や節の末尾において、「学習のまとめと表現」のページを設け、テーマについて自分で説明する学習活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 1時間の授業を見開きで構成したり、学習しやすいよう、記色やレイアウト、表現方法などを工夫したりするとともに、端末を活用した学習として、「まなびリンク」（QRコード）を掲載するなど、便宜が図られている。</p>	
そ の 他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。		

様式 2

教科名		社会科（地理分野）				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		帝国書院	社会科中学生の地理	703	日本文教出版	中学社会地理的分野
取 扱 内 容 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	<p>○地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域構成」において、世界の国や地域について関心を高めたりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、生活の様子を考察したりする活動 ・「世界の諸地域」において、主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、日本の自然環境に関する特色等を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、それぞれの地域的特色をとらえる活動 ・「地域の在り方」において、主体的に社会の形成に参画する態度を身に付けたりする活動 <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、「地域の在り方」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、社会的な課題の分析と、その構解決に向けた構想に取り組む活動を設けたり、生徒自身が学習の振り返りを行ったりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○内容の構成・排列については、「世界のさまざまな地域」において、地域で見られる地球的課題の影響を考察する学習の後に、「日本のさまざまな地域」において、地域的特色を構成する各事象と地球的課題の相互関係を考察する学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、「アイヌの人たちの歴史・文化等」は3ページ、「北方領土に関する内容」は6ページ取り上げており、総ページ数は300ページで前回よりも7%増となっている。</p>			<p>○地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域構成」において、世界の国や地域について関心を高めたりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、日本の自然環境に関する特色等を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、地域社会の形成に参画し、その発展に努力しようとする態度を身に付けたりする活動 <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、「世界の諸地域」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、節末で地球的課題を設けたり、「チャレンジ地理」等で地球的課題を解決したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○内容の構成・排列については、「世界の諸地域」において、人類全体で取り組まなければならない地球的課題について考察する学習の後に、「日本の諸地域」において、持続可能な社会を実現する上で取り組まなければならない地域の課題を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、「アイヌの人たちの歴史・文化等」は3ページ、「北方領土に関する内容」は6ページ取り上げており、総ページ数は287ページで前回よりも2%増となっている。</p>		
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○「日本の諸地域」において、雪と共にある北海道の人々の生活を取り上げたり、自使然と共に生きるアイヌの人々の歴史や文化を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○章・節・各本文において、冒頭に設けた単元を貫く問いから学習の見通しをもつ活動や、末尾に言語活動を備えた学習の振り返りの活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○地域の特色が見える写真資料を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、資料は識別しやすい色とし、文字はユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			<p>○「日本の諸地域」において、北海道地方の自然環境と人々のかかわりを取り上げたり、日本の先住民族であるアイヌ民族の歴史や民族共生象徴空間を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○単元の終末部において、具体的な課題を自ら調べたり、議論したりする活動や、学習を振り返って知識の定着を図る活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○1時間の授業を見開き2ページで構成したり、全ての生徒が学習しやすいよう、教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「デジタルマーク」（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>		
そ の 他	○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。		

様式 2

教科名		社会科（歴史的分野）				
取 扱 内 容	出版社名	教科書名	番 号	出版社名	教科書名	番 号
		東京書籍	新しい社会 歴史	705	教育出版	中学社会 歴史 未来をひらく
	<p>○歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史へのとびら」において、小学校で学習した歴史上の人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号についてのまとめや年表の読み取りから時期や年代の表し方の意味や意義、歴史の流れの捉え方を理解したりする活動。 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、テーマ設定などの調査方法を示した資料から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動。 ・「古代までの日本」において、古代では、人類の発展と古代文明の発展に着目して文明ごとの特徴を考察したり、当時の人々の生活を比較する活動。奈良時代では律令国家の形成に着目して、貴族と一般の人々の生活の違いが生じた理由を考察したり、単元のまとめでは「古代日本のキーパーソンはだれだろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動。 ・「中世の日本」において、鎌倉時代では武家政治の成立の影響に着目して、平安時代の政治の特徴と比較して違いを考察したり、東アジアと日本の関わりを交易路から考察したり、室町時代の文化の中から現代につながるものを考察させ、単元のまとめでは「古代との比較から中世の特色を探ろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、中世ヨーロッパとイスラム世界の関わりから、世界の変化を説明したり、織田・豊臣の統一事業に着目して、戦国時代を終わらせた最も重要な政策を考察したり、江戸時代の支配体制と民衆の暮らしを資料から読み取り、単元のまとめでは「近世で最も活躍した身分はどれだろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動。 ・「近代の日本と世界」において、産業革命によるヨーロッパ州の産業・政治の変化に着目して考察したり、明治政府の諸改革の目的に着目して、政府のアイヌ民族と琉球民族への対応の相違点を考察したり、単元のまとめでは「日本と世界との結びつきを考えよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動。 ・「二度の世界大戦と日本」において、世界恐慌をきっかけに世界中で起きた社会の変化に着目して、日本の軍国主義への傾倒を理解したりする活動。単元のまとめでは、「戦争へのターニングポイントは何だろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動。 ・「現代の日本と世界」において、戦後の政治の展開と国民生活の変化に着目して、日本復興の象徴となる出来事を考察したり、単元のまとめでは「現代の日本を形作ったものは何だろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動。 			<p>○歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物や文化遺産に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、歴史学習での見方・考え方の手法、西暦や世紀、時代区分、年号についてのまとめや年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動。 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、新潟市を例に、歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査方法や発表方法を示した地域調査の手引きから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動。 ・「古代までの日本」において、古代では、世界宗教のおこりと広がりについて古代文明との関係に注目して考察したり、奈良時代では中央集権国家の仕組みに着目して、中央と地方の関係を考察したり、単元のまとめでは「原始・古代の時代の移り変わりを確かめよう」という主題を設けて時代の特色を年表にまとめ理解したりする活動。 ・「中世の日本」において、鎌倉時代では武家政治の発展に着目して、系統的に理解したり、室町時代では文化の変化に着目して、社会の変化との結び付きを考察したり、単元のまとめで「中世の政治や文化について説明しよう」という主題を設けて時代の特色を文化と政治の2視点で考察し理解したりする活動。 ・「近世の日本」において、中世ヨーロッパ世界と戦国・安土桃山時代との関わりをキリスト教の広まりから考察したり、元禄・化政文化の形成に着目して、共通点や時代背景の違いを考察したり、単元のまとめでは「近世の舞台を地図で確かめよう」という主題を設けて地図を活用し時代の特色を理解したりする活動。 ・「近代の日本と世界」において、ヨーロッパ州における欧米列強の成立に着目して、アジアの植民地化を進めた背景を理解したり、議会政治の展開に着目して、明治政府と民権派の考え方の違いを考察したり、単元のまとめでは「近代の時代の特色を考えよう」という主題を設けて関係図を用いて時代の特色を理解したりする活動。 ・「二度の世界大戦と日本」において、国際関係や世界経済の変化が、各国の政治や国際関係にどのような影響を与えたのか、二度の世界大戦の背景や変化を比較し考察したりする活動。 ・「現代の日本と世界」において、国際社会における我が国の役割に着目して、平和な世界を築くための取組を考察したり、単元のまとめでは「日本が国際的地位を向上させた要因を説明しよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動。 		

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、応仁の乱の学習内容において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、戦いの様子を描いた複数の時代の資料を比較し、社会の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○内容の構成・排列については、「歴史へのとびら」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、「アイヌの人たちの歴史・文化等」は18ページ、「北方領土に関する内容」は9ページ取り上げており、総ページ数は295ページで前回より9%増となっている。</p>	<p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、鎌倉時代の人々の暮らしの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、絵巻物を中心に複数の資料を比較し、人々の生活の様子について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○内容の構成・排列については、「歴史の流れをとらえよう」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、「アイヌの人たちの歴史・文化等」は18ページ、「北方領土に関する内容」は9ページ取り上げており、総ページ数は298ページで前回より14%増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○室町時代の東アジアとの交流や、琉球文化の資料を掲載して、琉球文化を紹介したり、「琉球の文化とは？」というテーマで踊りや演奏などの様子を学ぶなど、生徒の学習意欲を高める工夫が成されている。</p> <p>○「アイヌ文化とその継承」として、儀式や神話、生活の様子などの資料を掲載して、13世紀以降のアイヌ文化の成立と展開、アイヌ文化継承の動きを説明したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○「チェック」で、一単位時間の学習の終わりに基礎事項を確認する活動や、「トライ」で、要約や説明により学習課題を解決する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>	<p>○明治時代において、「琉球とアイヌ文化を伝えた人たち」というテーマで、琉球とアイヌ文化の復興に努めた人物を取り上げ、取り組みの様子を学ぶなど、生徒の学習意欲を高める工夫が成されている。</p> <p>○江戸時代に函館に来航したペリー艦隊の航路や函館の来航記念碑の写真に掲載して、函館寄港の際のエピソードを紹介したり、アイヌの人たちの言葉や文化について、神話の資料を掲載して、現在までアイヌ文化を伝えてきた人々の努力を説明したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○「確認」で、一単位時間の学習内容を振り返って整理する活動や、「表現」で、学習内容を図に表したり、自分の言葉で説明したりする活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「まなびリンク」（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>	<p>※中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

様式 2

教科名		社会科（歴史的分野）				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		帝国書院	中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	707	山川出版社	中学歴史 日本と世界
取扱内容、内容の構成・排列	<p>○歴史分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した人物に着目し、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、年号について、表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較等の視点に着目して、考察したり、まとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、奈良時代では東アジアとの接触や交流に着目して、仏教の伝来とその影響を考察したり、単元のまとめでは「古代の国が成立するために重要なことは何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代では緒産業の発達に着目して、文化などの特徴を考察したり、単元のまとめでは「武士と庶民がそれぞれの結び付きを強めていった目的は何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸時代では鎖国などの幕府の対外政策に着目して、幕府にとっての鎖国の利点を考察したり、単元のまとめでは「全国を統一する安定した政権が成立するために必要なことは何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治政府の近代産業の発展に着目して、農村の人々の生活の変化を考察したり、単元のまとめでは「近代化による、政治や社会の大きな変化とは何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、日本の高度経済成長に着目して、経済や産業、社会や国際関係の変化を考察したり、単元のまとめでは「現代の日本社会を形づくる画期となった出来事は何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、元禄文化の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、屏風に描かれた二つの装飾画から共通点を見いだして、文化の特色について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○内容の構成・排列については、「歴史のとらえ方と調べ方」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、「アイヌの人たちの歴史・文化等」は19ページ、「北方領土に関する内容」は7ページ取り上げており、総ページ数は292ページで前回よりも11%増となっている。</p>			<p>○歴史分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、時代区分、年号について、表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して考察したり、まとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、平安時代では東アジアとの接触や交流に着目して、文化の国風化を考察したり、単元のまとめでは「平安時代になると、社会はどのように変化したのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代では武家社会の展開に着目して、幕府の仕組みや守護の役割を考察したり、単元のまとめでは「宗教の果たした役割を考えよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸時代では産業や交通の発達に着目して、生産技術の向上や三都の発展を考察したり、単元のまとめでは「近世の日本の経済や社会はどのように変化したのだろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治政府の外交の展開に着目して、国際関係の変化を考察したり、単元のまとめでは「明治政府はどのような近代国家をつくろうとしていたのだろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、日本国憲法の制定やそれに伴う法律の改正に着目して、日本の民主化の進展を考察したり、単元のまとめでは「冷戦下の世界で起こった戦争の特徴は何だろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、日露戦争と東アジアの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、風刺画や地図などの様々な資料を基に日露戦争に至る過程とその戦争が与えた影響について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○内容の構成・排列については、「歴史との対話」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、「アイヌの人たちの歴史・文化等」、「北方領土に関する内容」は、ともに8ページずつ取り上げており、総ページ数は288ページである。前回との比較は前回調査研究していないため不明である。</p>		

<p>使用上の配慮等</p>	<p>○明治時代の札幌の地図や屯田兵村の写真、北海道の開拓と産業の発展に係る資料を掲載して、北海道や札幌市の近代化の過程を説明したり、アイヌの人たちの生活や文化について、神話や衣食住などの資料を掲載して、独自の文化を築いたことについて説明したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○「確認しよう」で、一単位時間の学習内容を振り返り、大切な事項を確認する活動や、「説明しよう」で、学習内容を自分の言葉で説明する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>	<p>○明治時代の札幌の地図やクラークの資料を掲載し、開拓の歴史などから札幌について考える課題を位置付けたり、アイヌの人たちの歴史と文化について、アイヌ民族の首長やイオマンテの様子を描いた絵を掲載して、特徴を示したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○「ステップアップ」で、一単位時間の終わりに新たな課題を追究する活動や、「歴史を考えよう」で、学んだことを基に考察する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインを取り入れたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>	<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

様式 2

教科名		社会科（歴史分野）				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		日本文教出版	中学社会 歴史的分野	709		
取扱内容	<p>○歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史を大きく変えた人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、年号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、奈良や大阪の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、歴史の調べ方について示した「スキルUP」のコラムから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動。 ・「古代までの日本」において、奈良時代では古事記や日本書紀に着目して、当時の人々の信仰やものの見方を考察したり、単元のまとめでは「文字の変化に着目して、古代までの特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動。 ・「中世の日本」において、室町時代では産業が発達していく過程に着目して、民衆の成長を背景とした文化の高まりを考察したり、単元のまとめでは「法に着目して、中世の特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動。 ・「近世の日本」において、江戸幕府の政策や社会の変化に着目して、幕府の改革が成功しなかった理由を考察したり、単元のまとめでは「幕府の収入に着目して、近世の特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動。 ・「近代の日本と世界」において、明治政府の富国強兵政策の目的に着目して、近代国家建設を急いだ理由を考察したり、単元のまとめでは「明治政府の政策から、近代の特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動。 ・「二度の世界大戦と日本」において、ヨーロッパの国際関係の変化をきっかけに二度の世界大戦への流れに着目して、戦争をとその影響を理解したりする活動。単元のまとめでは、「とらえよう！【二度の世界大戦と日本】の特色」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動。 ・「現代の日本と世界」において、経済大国となった日本と諸外国との関係に着目して、世界に与える影響を考察したり、単元のまとめでは「復興と成長の源に着目して、現代の特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動。 					

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、承久の乱の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、複数の資料から読み取ったことをもとに、古代から中世への時代の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○内容の構成・排列については、「私たちと歴史」において、歴史の学び方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した後に、時代区分毎に時代の特徴や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 <p>○内容の分量については、「アイヌの人たちの歴史・文化等」は15ページ、「北方領土に関する内容」は4ページ取り上げており、総ページ数は317ページで前回より16%増となっている。</p>	
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○北方領土に関する条約や北方領土付近の国境の変化の地図、写真などの資料を掲載して、第二次世界大戦後の日本の取組を説明したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○アイヌ文化について、儀式や神話、国立アイヌ民族博物館などの資料を掲載して、アイヌ文化の伝承について説明したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○「確認」で、一単位時間の学習の理解を確認する活動や、「深めよう」で、学習課題の理解を深める活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「デジタルマーク」（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>	
<p>その他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>	

様式 2

教科名		社会科（公民的分野）				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		東京書籍	新しい社会 公民	901	教育出版	公民 ともに生きる
取 扱 内 容 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	<p>○公民分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、AIやタブレットなどの高度化する事例について、推移や変化に着目して、現代日本の特色を理解したり、対立と合意、効率と公正などなどに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、日照権に配慮したマンションについて、個人の尊重と公共の福祉に着目して、基本的人権を中心とした人間の尊重の考え方や法の意義を理解したり、選挙シミュレーションや模擬裁判について、民主主義などに着目して、主権者教育の推進との関連を考察したりする活動。 ・「私たちと経済」において、コンビニエンスストアの経営に関する事例について、分業と交換、利益追求などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決め方を理解したり、社会保障給付費の財源の内訳について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、SDGsに関する事例から、「持続可能な社会の実現」をテーマとしてよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、個人の尊重と日本国憲法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、日本国憲法で保障されている人権について調べ、人権上の課題の解決策について話し合い、考えを深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○内容の構成・配列については、「現代社会と私たち」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を配列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の実現についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、「私たちと政治」のページ数が、全体の35%のページ数を占めている。また、アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げているページ数は10ページとなっている。</p>			<p>○公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、外国資本の大型家具店において位置・空間・推移・変化に着目し、現代日本の特色を理解したり、ごみ収集所の設置場所を事例に対立と合意、効率と公正などの物事の決定の仕方を考察する活動。 ・「私たちと政治」において、個人の尊重と法の支配に着目し、基本的人権の考え方を理解したり、18歳選挙権の意義を通して、民主政治と政治参加との関連を考察したりする活動。 ・「私たちと経済」において、事例から市場経済の基本的な考え方や市場の役割を理解したり、路面電車を事例に対立と合意、効率と公正の考えから政府の役割を考察する活動。 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、ユニセフが設立した学校に着目し、国際連合の役割を理解したり、「持続可能な未来の構築」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想、説明、論述したりする活動。 <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、私たちの暮らしと経済の学習において、学習課題を設定し、消費生活と経済活動について調べ、暮らしにおける経済活動の意味について論議し、考えを広げたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○内容の構成・配列については、「私たちの暮らしと現代社会」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後、終章で社会科のまとめとして地球規模の課題を捉え、探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、「アイヌの人たちの歴史・文化等」は4ページ、「北方領土に関する内容」は4ページ取り上げられており、総ページ数は264ページで前回よりも6%増となっている。</p>		
	使 用 上 の 配 慮 等	<p>○座標軸やマトリックス、ウェビングなどの思考ツールを取り入れ、生徒の思考を様々な方法で表現できる工夫がなされている。</p> <p>○芽室町の議会改革を取り上げ、北海道の事例から地方自治を考察できるようにしたり、旭川市のアイヌ語の地名表示板の写真を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p>			<p>○倶知安町の条例を取り上げたり、千歳市の手話通話が可能な公衆電話の写真を掲載するなど、学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○「学習はじめに」で、章全体の学習課題を捉え「学習のまとめと表現」で、学んだ内容を振り返って整理する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○全ての生徒が学習しやすい字体や色使いの工夫やQRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>	
そ の 他	<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>		

様式 2

教科名		社会科（公民的分野）				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		帝国書院	よりよい社会を目指して	903	日本文教出版	中学社会 公民的分野
取扱内容、内容の構成、並び	<p>○公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、外国籍の子ども達について、位置・空間・推移・変化に着目し、現代日本の特色を理解したり、騒音問題を事例に対立と合意、効率と公正などの物事の決定の仕方を考察する活動。 ・「私たちと政治」において、個人の尊重と法の支配に着目し、基本的人権の考え方を理解したり、少年議会の取り組みを通して、民主政治と政治参加との関連を考察したりする活動。 ・「私たちと経済」において、事例から市場経済の基本的な考え方や市場の役割を理解したり、景気変動と財政政策を事例に対立と合意、効率と公正の考え方から政府の役割を考察する活動。 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、国別二酸化炭素排出量に着目し、国際連合の役割を理解したり、「持続可能な未来の構築」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想、説明、論述したりする活動。 <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、民主政治の学習において、学習課題の設定し、国の政治や地方自治について調べ、民主政治の発展に向けて必要なことを論議し、考えを広げたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○内容の構成・並びについては、「現代社会」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後、終章で社会科のまとめとして地球規模の課題を捉え、探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、「アイヌの人たちの歴史・文化等」は4ページ、「北方領土に関する内容」は3ページ取り上げられており、総ページ数は235ページで前回よりも1%増となっている。</p>			<p>○公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、AI活用店舗について、位置・空間・推移・変化に着目し、現代日本の特色を理解したり、合唱練習のクラス割り当てを事例に対立と合意、効率と公正などの物事の決定の仕方を考察する活動。 ・「私たちと政治」において、個人の尊重と法の支配に着目し、基本的人権の考え方を理解したり、裁判員裁判シミュレーションを通して、民主政治と政治参加との関連を考察したりする活動。 ・「私たちと経済」において、事例から市場経済の基本的な考え方や市場の役割を理解したり、生活保護受給世帯数の推移を事例に対立と合意、効率と公正の考え方から政府の役割を考察する活動。 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、世界の飢餓状況に着目し、国際連合の役割を理解したり、「持続可能な未来の構築」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想、説明、論述したりする活動。 <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、現代社会の特色において、学習課題を設定し、日本の伝統文化の特徴と多様性について調べ、日本の文化を受け継いでいくために大切なことについて論議し、考えを広げたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○内容の構成・並びについては、「私たちの暮らしと現代社会」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後、終章で社会科のまとめとして地球規模の課題を捉え、探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、「アイヌの人たちの歴史・文化等」は4ページ、「北方領土に関する内容」は3ページ取り上げられており、総ページ数は257ページで前回よりも3%増となっている。</p>		
使用上の配慮等	<p>○旭川市の旭山動物園条例を取り上げたり、ゆうばりファンタスティック国際映画祭の写真を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○「学習の前に」で、学習の見通しをもたせたり「章の学習を振り返ろう」で学んだことを振り返る活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○全ての生徒が学習しやすい色使いの工夫やQRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			<p>○旭川市の旭山動物園条例を取り上げたり、帯広市の馬文化祭りの写真を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○「学習始めに」で、学習課題解決の手がかりを捉える活動や「チャレンジ公民」で現代課題を考察する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○全ての生徒が学習しやすい字体の工夫やQRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>		
その他	<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>		

様式 2

教科名		社会科（公民的分野）				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		自由社	新しい公民教科書	905		
取 扱 内 容 、 内 容 の 構 成 、 排 列	<p>○公民分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、合計特殊出生率や国内総生産などのグラフについて、世界と比較して、現代日本の特色を理解したり、対立と合意、効率と公正などなどに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、市役所生活福祉課の窓口について、生活保護の現状や生存権に着目して、基本的人権を中心とした人間の尊重の考え方や法の意義を理解したり、選挙区の比較データや裁判員制度について、民主主義などに着目して、主権者教育の推進との関連を考察したりする活動。 ・「私たちと経済」において、均衡価格の決定の仕組みについて、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決まり方を理解したり、公共事業予算の推移について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、SDGsに関する事例から、「持続可能な社会の実現」をテーマとしてよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 <p>・○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、世界と日本の安全保障の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、国際平和協力活動への取組について調べ、私たちにできる国際平和への貢献について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○内容の構成・配列については、「現代日本の自画像、個人と社会生活」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を配列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の構築についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、「私たちと国際課題の諸課題」のページ数が全体の23%を占めている。また、北方領土に関する内容を上げているページ数は5ページとなっている。</p>					
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○教科書の内容を深く掘り下げるページを設けており、現代の課題について考察できるような工夫がなされている。</p> <p>○2018年9月に発生した北海道地震を取り上げ、北海道の事例から地方自治と防災を考察できるようにしたり、「二風谷アットゥシ」の写真を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p>					
そ の 他						

様式 2

教科名		社会科 (地図)				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		東京書籍	新しい社会 地図	701	帝国書院	中学校社会科地図
取扱内容、内容の構成・排列	<p>○ 社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界全図」において、距離と方位が正しい地図と面積が正しい地図を比較したり、日本と世界の国々との時差を調べたりする活動 ・「世界州別図」において、世界の州の境を読み取ったり、第二次世界大戦前のアフリカの独立国を調べたりする活動 ・「世界主要地域詳細図」において、アメリカ合衆国の等時帯線を読み取ったり、西アジア・環地中海地域のパイプラインの位置を調べたりする活動 ・「世界の資料図」において、世界のエネルギー資源の分布と貿易やSDGsの目標と課題解決に向けた取組を調べたりする活動 ・「日本全図」において、我が国の東西南北端や北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を調べたり、領土や排他的経済水域の範囲を読み取ったりする活動 ・「日本地域別詳細図」において、高速道路網による他地域との結び付きを調べたり、世界遺産のある県を調べたりする活動 ・「日本の資料図」において、人口分布や増減率の特色を読み取ったり、火山と地震の分布から、防災について考えたりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、一般図に「注目したい記号」を設け、地図の読図を通して分かることを地域の特色を踏まえて整理したり、資料図にキャラクターの吹き出しを設け、テーマに沿って考察したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、世界の諸地域において、一般図により諸地域を大視する学習の後に、考察する主題や生徒の興味・関心に応じて自然や農業等に関する資料図を選択できるような構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫が列なされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「アイヌの人たちの歴史・文化等」を取り上げているページ数は4ページ、「北方領土に関する内容」を取り上げているページ数は3ページ、総ページ数は192ページで、前回よりも4%増加している。</p>			<p>○ 社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界全図」において、日本と世界の国々との時差を調べたりする活動 ・「世界州別図」において、アジア州の境界を読み取ったり、ヨーロッパの位置を同緯度・同縮尺の北海道と比較したりする活動 ・「世界主要地域詳細図」において、アメリカやカナダの国立公園の分布を調べたりする活動 ・「世界の資料図」において、東アジアと日本の交流を調べたり、持続可能な社会を実現するための取組を調べたりする活動 ・「日本全図」において、我が国の領土や排他的経済水域の範囲を読み取ったりする活動 ・「日本地域別詳細図」において、地形の特徴から発達した農産物の違いを読み取ったりする活動 ・「日本の資料図」において、東京都周辺の地形図から発生しやすい自然災害とその対策を調べたりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、一般図に「地図活用」のコーナーを設け、地図の読図や比較を通して分かることを整理したり、資料図に学習課題を設け、テーマに沿って考察したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、世界の諸地域において、一般図により諸地域を大視する学習の後に、考察する主題や生徒の興味・関心に応じて環境問題や日本との結び付きを示した資料図を選択できるような構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「アイヌの人たちの歴史・文化等」は6ページ、「北方領土に関する内容」は6ページ取り上げており、総ページ数は188ページで前回よりも7%増となっている。</p>		
使用上の配慮等	<p>○ 日本と結び付きが強い世界の各州に、自然地形をとらえられる鳥瞰図を掲載したり、北海道地方のテーマ資料においてアイヌ語に由来する地名の資料図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「この地図の地図記号・活用方法」に地図帳の活用例や学習の指針や関連する資料を示す「ジャンプ」を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末に197か国及び47都道府県の統計を掲載したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、端末を活用した学習活動として、「Dマーク」(QRコード)を掲載するなど、便宜が図られている。</p>			<p>○ 世界の各州に生活・文化、産業などのイラストを配した鳥瞰図を掲載したり、北海道地方の資料において開拓の歴史とアイヌ語地名の資料図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「地図帳の使い方」に地図帳の活用例や学習の指針を示したり、関連性の深い内容を示す矢印マークを掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p>		
その他	<p>・学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			<p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>		